

「やまびこ句会」に参加して

中山正光（前歩、11 組）

関東同窓会の俳句同好会「やまびこ句会」に入会して俳句を楽しんでいます。

毎月、第 2 金曜日に文京シビックセンターに 10 名ほどの仲間が集まって句会を開いています。

その時々には披露された句は関東同窓会の HP に掲載されていますので、興味のある方は HP を覗いてみてください。



<https://uedakant.sakura.ne.jp/pdf/haiku2601.pdf>

1 月 9 日の「やまびこ句会」の当番は私（俳号は前歩）でしたので、句と短文と一緒に HP に投稿しました。

以下転載します。

「やまびこ句会」は昨年まで「雑詠」で、特に題は決めず、各人が自由な題材で創句して発表していました。

もちろん、季語は各人の詠んだ時期のものを使うのが原則で、いわゆる「当季」俳句です。今年（令和 8 年）1 月から、「兼題」（句会の前に知らされる題を使って創句する）を始めました。これは「席題」（句会の席上で先生から出される題を即興で創句する）ではないので、各人、事前にその「兼題」で創句して推敲が可能です。

今月の「兼題」は児玉一江先生（62 期）の発案で『鞆』でしたので、参加者は以下の句を発表しました。

初買は妻の鞆と旅の本

初旅や使ひ慣れたる鞆持ち

ランドセル色褪せずして去年今年

「センセイの鞆」で新年読書会

年玉は鞆三つを孫達に

冬の旅亡父残せし革鞆

初夢は空飛ぶ鞆に乗りし旅

青いショルダー傘寿祝いのお年玉

なお、来月の「兼題」はいろいろな意見が出されましたが、『時計』に決まりました。次回も楽しみです。

（2026 年 1 月 19 日 記）

以上